



意匠性と「効能」と～ 仕上げの「色」の持つチカラ

その空間をどんな色で仕上げるか。

インテリアの色は、お家のお打ち合わせでもクライマックス、理想の空間に近づけるために私達も一緒に時間を掛けてお話させていただく部分です。お家の場合、住まわれる方の嗜好が反映され、良く「おかしくないでしょうか」「普通はどうされるのですか?」というお尋ねをうけるものの、絶対的な正解というものはあるようで無いような…我々は、住まわれる方のベストを探すお手伝いをさせていただくというのが正直な感覚です。

これが沢山の方が出入りする施設となるとまた違う話になってきます。時代による変化が顕著にみられる場所のひとつが病院のインテリアではないでしょうか。家族が入院した経験をお持ちの方には多少共感頂けるのでは? 数年前までは圧倒的に主流だった白一辺倒の「清潔感あふれる」空間から、エントランスや通路には**元気な気分になれる色**を効果的にあしらった空間や、適度に木目柄を取り入れた空間・照明も組み合わせるとほとんどラグジュアリーな雰囲気仕上げられた空間など。一昔前ならメンテナンス性から医療空間にはお勧め出来なかった木目調も、素材の進化で可能な選択肢になり、これに**効果的な景色＝効果的な開口(窓)**の組み合わせた計画には本当に力があります。体が優しさを感じる「ベージュ」→木目、緊張を和らげるあたかな「オレンジ」、自己治癒力をたかめる「グリーン」、多幸感を感じる「ピンク」…やはり嗜好とは別に**色のもつ「効果」**が確実にあり、無視出来ない空間構成要素であることは間違いありません。

さらに、**オフィス空間**でも昔ながらのグレーなイメージで仕上げられた空間を一新されたいのご計画もちらほら。事務機器の色もカラフルに、個性を出すことが可能なラインナップが充実しており、机の高さ一つもスタンディングでのミーティングが可能な設定もあり、配線の都合から広く使用されているタイルカーペット(400角程度の正方形ごとに施工するカーペット)で**色を遊ぶことも可能**になっています。雰囲気をとにかく変えたいというご希望だった休憩室の改装は、非日常的な黒い天井にラスティックなフロアを組み合わせ、今流行のインダストリアルなイメージに。

公共施設やオフィスに求められる、不燃性・衛生面やメンテナンス性などの性能を持つ**「使える」素材**が広がり、もっと**「居住性」を重視したインテリア**が広がっていくと思われます。お家のインテリアを考えるのとほぼ同じ自由度で、色や素材感の検討が可能になり、そこからの発想がまた循環して何か生まれるかも。特に日本のインテリアにおいて**「色彩」**は少し新しい分野でもあり、これからの展開が楽しみでもあります。



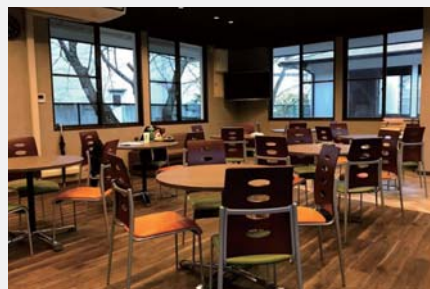
ホテルロビーのようなラグジュアリーな「総合病院待合室」。



オーソドックスな色彩の部屋にカラフルなチェアでアクセント。



タイルカーペットにも差し色を。アクティブなイメージのミーティングルーム。



表情豊かな木調と石目調のフロアを貼り分けてリズミカルに。濃色の天井は意外性のある非日常感を演出します。

📍 デザオ不動産流通 不動産を買う・借りるときのポイント



この時期には、春先に向けて不動産を買う・借りることを検討される方が多くなります。気に入った物件が見つかれば現地確認を行うこととなりますが、その際必ずご確認いただきたい重要なポイントをご紹介します。

1. 臭気・騒音・眺望・陽当たり等の確認

これらは資料では確認が難しく、ご自身で現地にて必ず体感することをお勧めします。近くに料理店がある場合どれくらい臭いがするか、する場合はそれが許容範囲であるかどうか、駅近の場合は電車が通過するのを待ってみたり、陽当りは時間帯を変えて確認してみるのも良いでしょう。

2. 日常生活に欠かせない施設(駅・学校・病院・商業施設等)までの所要時間

物件資料等に記載されている徒歩による所要時間は80mあたり1分で計算されていますが、高低差や信号待ちによる時間帯等は加味されていません。最短距離で記載されている場合が多いので、実際にご自身の足で歩いてみましょう。